

第2回は清田中央地区町内会連合会 加賀谷(かがや)会長のお話です。清田区誕生10周年を迎えるに当たり、区役所とともに区のまちづくり活動を支えてきた町内会連合会の会長に、清田区の10年間、またはこれからの清田区について語っていただきます。



清田中央地区町内会連合会
会長 加賀谷 正光

「十周年を機に新たな出発を」

清田区誕生十周年を迎え、区民の皆さん、地区の皆さんと喜びを共にしたいと思えます。平成九年十一月四日、清田区体育館に清田区五町連の役員を中心に関係者千四百人が集まり、五町連代表だった故大山平岡町連会長の「新旧住民が手を携え、本日の感激を胸に活力と魅力にあふれた清田区を築こうではありませんか」のあいさつで始まった盛大な祝賀会。まるで昨日のことのように思い出されます。

さて私たちの町連は、平成二年、清田地区から分町、清田中央町連として発足したのですが、河川などによって隣接の地域とは孤立し、孤立したような地形になっております。

文教地区と言われる地区でもあります。そんなことから、平成元年ごろの舟券売り場設置問題（真栄五十七、四十一番地周辺）では各校のPTAが中心となり、また平成五年のテレホンルーム（清田三条二丁目）開設時には町連青少年育成部、市青少年育成委員会、民生委員・児童委員協議会、四校連（各校PTAの連合）が協力して、このような設備は文教地区にふさわしくない」と反対運動を展開、これを撤回させたこともありました。

この四団体が後に「青少年を育（はぐく）む会」を結成し、さまざまな青少年育成活動に取り組むようになり、さらに平成九年八月には、地域十団体による不審者や交通事故から子どもたちを守る「児童生徒事故防止合同対策協議会」結成の母体となりました。

清田区が誕生して十年、この間清田中央町連もさまざまな事業を手掛けてまいりました。中でも平成十八年七月に行なった「市長とおしゃべりしませんか」では、「住み良い環境、そして安全安心のまちづくり」のため『こんなこと

をやってきたんだが』をテーマに、パワーポイントを使って各専門部長が各々の活動内容の報告、説明を行い、その内容を基に、今後の「まちづくり」についての話し合いを行いますと、清田中央町連十年間の歩みを一年前倒しで総括した、そんな感じがします。

その概略を言いますと、
1. ごみゼロの日行事、地区内ポイ捨ての実態調査（環境衛生部）
2. 福まち（福祉のまち推進センター）の活動、敬老会、文化展示会（福祉厚生部）
3. 交通安全パレード、交通



防犯パトロール《8・3運動》(2006年10月19日)



福まち主催『いきいき交流会』(2006年10月1日)

少年団（交通安全対策部）
4. 子ども110番の家、危険マップなど、児童生徒事故防止合同対策協議会（青少年育成部）
5. 防犯パトロール隊、青色回転灯搭載車（防災・防犯部）
6. 町連だより、ホームページ（地域情報部）
7. その他女性部、体育部の活動

平成十八年十月、町連では新たに八・三運動を展開、現在三百人のボランティアが活動中です。

最後に清田区誕生十周年をお祝いするとともに、これら新しい出発点として町連のさらなる前進を決意したところです。

広告